



広報

1989年
7月15日

No.380

もりよし



平成元年

7月号

星に願いを

7月7日、米内沢小学校体育館で児童による七夕集会が開かれました。

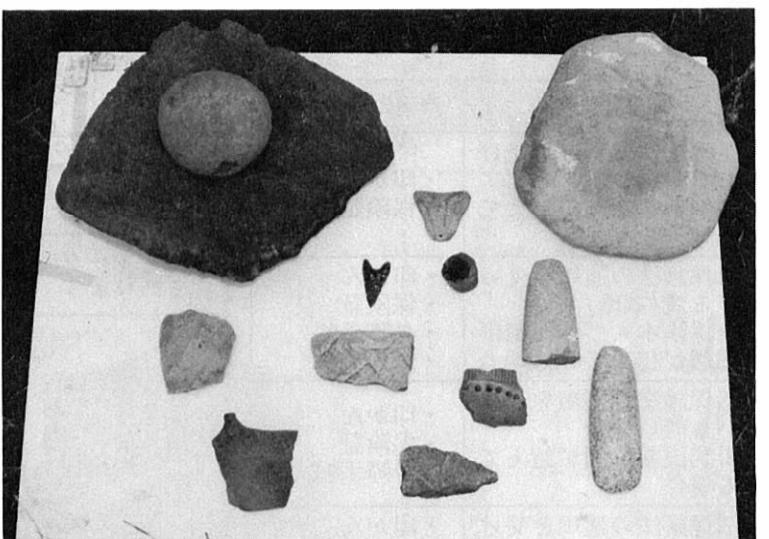
「魚のようにみんな泳げるよう」 「みんな仲よく健康なクラスでありますように」など、色とりどりに飾り付けられた竹へ、各クラスの願いごとが掲げられました。

今、時を越えて

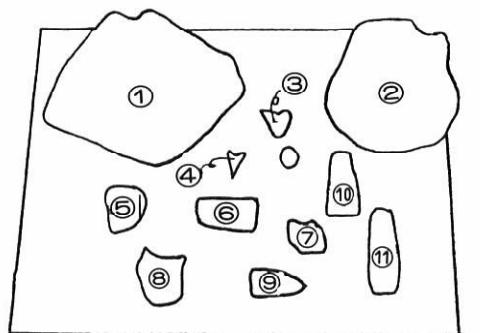
よみがえ 甦る5000年の 縄文時代の集落跡(米内沢)



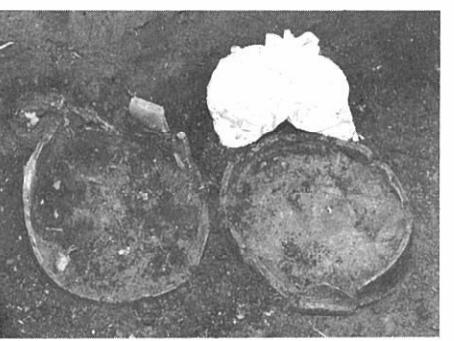
◆ほとんどそのままの形で出土された土器



◆出土品の一部



- ①木の実をすりつぶすのに使つた石皿
- ②土器等に着色するため材料をすりつぶした古代人のパレット(いまだに赤色が付着している)
- ③土偶
- ④矢じり(県内では男鹿でしか産出されない黒曜石)
- ⑤～⑨土器片
- ⑩⑪石斧

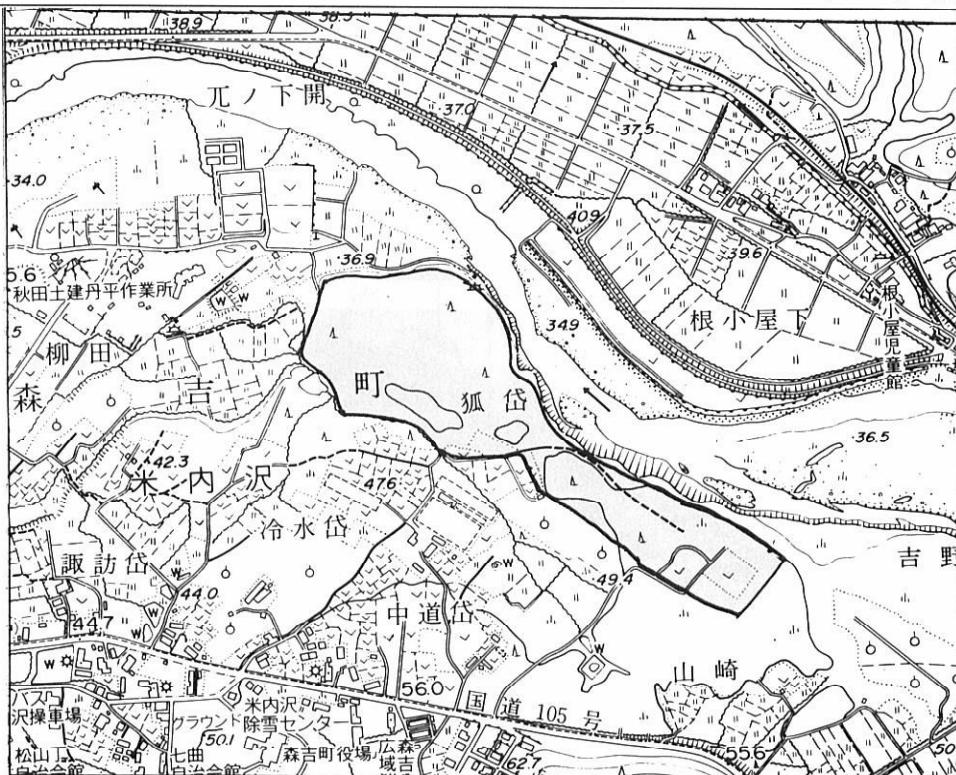


▲死者を葬ったかめ



◆環状列石の説明をうける町議会議員のみなさん

ロマン 狐岱地区



秋田県埋蔵文化財センターが、六月上旬から米内沢狐岱地区の発掘調査を進めていましたが、調査範囲のいたる所から縄文土器、石器、住居跡等が発見されています。範囲の広さ、埋蔵物の豊富さから古代人が長期間にわたって定住していた集落跡であることが、ほぼ明らかとなり、埋蔵物の分布もかなりの範囲に及ぶことから、考古学上の貴重な資料として注目を浴びています。

米内沢狐岱地区は、昔から土器片や石器が多くみつかることとして知られ、昭和二十九年に学術調査が行われており、狐岱・吉野・山崎の地域一帯が縄文前期・中期・平安時代の遺跡として指定されました。ダム建設に伴う代替農地の造成

が、この地域に予定されていることから急ぎよ発掘調査されることになり、今回は遺跡の分布範囲、埋蔵品の抽出調査のための部分的な発掘が行われました。

二〇haに及ぶ範囲内に四〇m間隔で幅一mの調査溝を掘り、出土品を収集、整理する作業が続けられましたが、これまで発掘された中で、大型住居跡、墓と思われる含層(ゴミを捨てた所)など興味深い遺跡が多数発見されており、縄文時代前期の終り(五千二百年前)から中期の末(四千年前)まで続いた遺跡であることが確認されています。このように一ヵ所に長い期間定住していたことや、遺跡の分布の広さから住居跡が数百軒に及ぶと推定されるその規模は

| | |
|----------|-----------------------|
| 6月4日(月) | 根森田・桂瀬・五味堀・小又運動会 |
| 6月5日(月) | |
| 6月7日(水) | 交通安全母の会総会 |
| 6月10日(土) | 幼児教育・音楽館懇談会 |
| 6月11日(日) | 広域市町村圏組合管理者会議 |
| 6月12日(月) | 森吉山スキー場整備促進総決起大会(阿仁町) |
| 6月13日(火) | もりよしまランソンわんぱく相撲大会 |
| 6月14日(水) | |
| 6月15日(木) | |
| 6月16日(金) | |
| 6月17日(土) | 町議会定例議会(～27日) |
| 6月18日(日) | 阿仁部たばこ販売協同組合総会 |
| 6月19日(月) | |
| 6月20日(火) | |
| 6月21日(水) | |
| 6月22日(木) | |
| 6月23日(金) | |
| 6月24日(土) | 森吉町消防団幹部研修 |
| 6月25日(日) | 阿仁前田運動会 |
| 6月26日(月) | |
| 6月27日(火) | 6月27日(火) |
| 6月28日(水) | 広域市町村圏組合管理者会議 |
| 6月29日(木) | 秋田県民宿組合総会(森吉山荘) |

もりよし
にづき



台所におじゃましまへす

秋元信子さん

— 牛肉ときゅうりの中華風マリネ —

《材料》

- ・牛肉(赤身)100g・干し椎茸3枚・きゅうり6本・ねぎ1本・白すりごま小さじ2
- ・生姜1片・赤唐辛子1本・卵1個・にんにく少々・サラダ油大さじ1
- a.きゅうりの漬け汁(醤油大さじ5・酢大さじ3・砂糖大さじ2・水大さじ2)
- b.牛肉下味用(醤油大さじ1・ねぎみじん切り大さじ1・酒大さじ1/2・砂糖小さじ1・ごま油少々・白すりごま小さじ1・にんにくみじん切り小さじ1/3)
- c.椎茸の煮汁(醤油大さじ1・酒大さじ2・ごま油少々・砂糖小さじ1・白すりごま小さじ1・椎茸もどし汁大さじ2)

《作り方》

- ①きゅうりは、塩をふって板ざりし、水洗いする。両端を切り落とし、半分に。2/3位のところまで縦に切目を入れる。
- ②aをあわせて①を漬け込み、時々ころがして味をなじませながら、1時間位おく。
- ③牛肉はbで下味をつけ、長さ5cm、幅5mm位に切り、サラダ油(大さじ1)で炒める。
- ④椎茸はもどす。石づきを取り、千切りにし、cで煮汁がなくなるまで煮る。
- ⑤ねぎと生姜は、千切りにし、赤唐辛子は種を抜いて小口切りにする。③④が冷めたら全部混ぜ合わせる。
- ⑥①のきゅうりの切目に⑤の具を詰める。
- ⑦錦糸卵を作る。
- ⑧器に⑥のきゅうりを並べ、残っている漬け汁をかけ、上に錦糸卵を飾る。
- △ポイント……きゅうりに下味がしみ込むよう手のひらで転がすとよい。すぐ食べてもよいが、薄味なので2~3日漬け込んで味が変わらない。夏は冷やしてビールのお供に!

※次回は、米畑の千葉春美さんです。



4

— まちいたの一人ごと —

おいしそう! ビールがますみそですね。

すっかり夏です。天ぷら、麺類が食卓にのぼる回数が増えてきました。今回は合わせ調味料の分量をお知らせします。

○ 麵類のつけ汁

・だしカップ1・醤油カップ1/4
1/4・みりんカップ1/4

全部合わせて煮立て、ふきんでこす。砂糖を少々加えてもよい

○ 冷し中華のそば汁

・だしカップ2~3・醤油大さじ4
・醤油大さじ3・砂糖大さじ3
・塩小さじ1・ラー油小さじ1

○ 天つゆ

・だしカップ1・醤油カップ1/4
・みりん大さじ3

○ 天ぷらの衣

・小麦粉カップ1・卵1個
・冷水カップ3/4

ところで、昭和二十三年九月二日午後七時半ごろ、湯の岱下手中にかかる第一の吊り橋がにわかに切れ渡橋中の男女工員十一名が急流に落ち女性工員八名が犠牲となる惨事が起つた。翌日の電気化学工業秋田鉱業所の開鉱十周年の祝典に参列するため、軌道のガソリン機関車にて湯の沢に到着し、折しも降りしきる雨の中湯の岱の合宿所渋風荘に向かう途中の桂瀬選炭場にて働く人たちであつた。

又、図書館長であられた清水孔次郎氏が町史編纂の資料として東北炭鉱関係の調査をなされているが、会社関係者の一人であられた梅津勘治郎氏(現在、兵庫県西宮市甲子園在住)が送られた東北炭鉱関係書簡の中に次のこと

が記されている。

「昭和十八年になり兵隊召集による従業員不足解消の為、其の補充対策として朝鮮より鉱山労務者を徴用、強制移入した。当社には五

十名が配属されたが、このように地方の小社に多人数が配属されたのは異例のことであったが、それ

は、当社が朝鮮全羅南道(現韓国)

に事業主体である大きな無煙炭鉱を経営する会社であったためであつたからと思われる。又、そのよ

うな会社であつたために国内他の鉱山と違つてこれらの人々に対する認識と対応が格段と異なつてゐた。前田鉱業では日本人と同じように対応することに決し、けつ

して監視はせず、鉱業所への出入りは全く自由にした。とくに根森田の織山倉吉氏が直接の労務係であつたのでその付き合いは良く、けつ

氏の田植え時には人選に困るほど戦となり、朝鮮に帰還する際、鉱業所主催によるお別れパーティーが開かれた。アリランの唄やトラ

ジの唄が歌われ、又、踊り出す者もいて数時間の盛会を見た。後に喜んで帰還したのは、全国で唯一

であつたとか。之は南鮮炭鉱としても東北前田炭鉱としても特記して飾つてよい事項であろう……。

この時の取締役社長は木村一郎氏であり、鉱業所長は東北前田炭鉱中興の祖といえる小野昇氏であつた」と書いておられる。

尚、直場健三氏(前田炭鉱初代

参照

〔昭和五十八年の手紙より〕

〔デンカの歩み50年〕

〔45年の歩み〕



過去30年間の東北地方日本海側の天気 と 昨年の森吉町の天気

| 7月 | 東北地方 日本海側 | 森吉町 | 8月 | 東北地方 日本海側 | 森吉町 |
|-------|--------------|-----|-------|--------------|-----|
| 15(土) | | | 1(火) | | |
| 16(日) | | | 2(水) | | |
| 17(月) | | | 3(木) | | |
| 18(火) | | | 4(金) | | |
| 19(水) | | | 5(土) | | |
| 20(木) | | | 6(日) | | |
| 21(金) | | | 7(月) | | |
| 22(土) | | | 8(火) | | |
| 23(日) | | | 9(水) | | |
| 24(月) | | | 10(木) | | |
| 25(火) | | | 11(金) | | |
| 26(水) | | | 12(土) | | |
| 27(木) | | | 13(日) | | |
| 28(金) | | | 14(月) | | |
| 29(土) | | | 15(火) | | |
| 30(日) | | | 16(水) | | |
| 31(月) | | | 17(木) | | |

中庄 嶋司 秀卓 子 實 シリアコ・コンゴルジヤ 武石 正廣 成田 由紀子 赤石 哲男 裏巣
鷹八根根鷹裏
巣幡小小巣
町森屋屋町



ご結婚
おめでとう

| | |
|---------------------|--------------|
| 渡辺 鈴木 | 博之（健作・二男）根小屋 |
| 美里（みさと）（清・二女）向本城 | |
| 宏至（ひろし）（貞夫・二男）平里 | |
| 吉田 里美（さとみ）（進・長女）惣瀬 | |
| 三浦 ちえみ（轟信・四女）陣場岱 | |
| 吉田 恭平（きよへい）（悟・二男）桐内 | |

二万円 十万円 二万円 五万円 二万円 一万円 三万円 一万円 三万円 二万円

碎新浦滝鶴浦寄小新前田駅前
ノ
渕町田沢田田延又町

加賀 正明
細田 孝藏
森川 末藏
工藤 哲男
庄司 邶一
佐藤 喜代美
柳山 篠子
佐藤 堅二
近藤 昭
齊藤 直一郎

社会福祉協議会に善意が届けられました。ご厚意に感謝申し上げます。

善意

| | | |
|-----------|--------|-----|
| 佐藤富之助 | (79) | 本人 |
| 工藤トキエ | (79) | 哲男母 |
| 庄司 | キサ(95) | 刈一母 |
| 金 | リヨ(66) | 勇吉妻 |
| 武石 | 米松(66) | 米治父 |
| 松岡 | 助藏(86) | 勝義父 |
| 千葉ミヨノ(79) | キミ(74) | 忠行母 |
| 桂瀬駿鈴 | | |
| 下前田 | | |

おくやみ



自分で操縦して
みませんか！

- ◆ 小型船舶4級操縦士(湖沼)講習会
16歳以上の男女どなたでも受講できます。気軽に受けください。
 - 講習及び試験日(予定)
7月下旬(1泊2日)
 - 講習料及び試験料
45,000円(宿泊費込)
 - 講習人数
約30人(お早く申し込みを)
 - 講習及び試験場所
太平湖
 - 問い合わせ、申し込み先
役場商工観光課内 阿仁川漁協
☎ 0186-72-3111 内線36

※郵送、電話でもお受けいたします。

主催 阿仁川漁業協同組合

後援 県小型船舶教習所・森吉山荘

町の人口

平成元年6月末現在
住民登録人口

| | | |
|-----|---------|-------|
| 男 | 4,562人 | (- 6) |
| 女 | 5,046人 | (+ 4) |
| 計 | 9,608人 | (- 2) |
| 世帯数 | 2,754世帯 | (- 2) |



慶弔
6月

(敬称略)

7月末日は国民健康保険税2期分の納期限です。忘れずに納めましょう。